

令和4年1月4日(火)
国土交通省 関東地方整備局
東京国道事務所

記者発表資料

「R3国道4号下谷(2)電線共同溝路面復旧その2工事」において、「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」、「日当たり作業量の補正」を試行し、「余裕期間制度」、「難工事指定」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取り止めや不調が予想される工事について、不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R3国道4号下谷(2)電線共同溝路面復旧その2工事」については、「公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)」を試行するとともに、「日当たり作業量の補正」、「余裕期間制度(フレックス)」、「難工事指定」の対策を試行・採用します。

(1)公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)

競争参加者が少数と見込まれる工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

(2)日当たり作業量の補正

現場条件等により作業効率が低下し、標準積算と施工実績の乖離が大きいと考えられる標準歩掛について、日当たり作業量の補正を行う制度です。

(3)余裕期間制度(任意着手方式)

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備をおこなうことができる余裕期間を設定する制度です。

(4)難工事指定

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事(試行)」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所
副所長 藤平 忠晴 (ふじひら ただはる)
道路工事調整課長 伊藤 直行 (いとう なおゆき)
電話 03-3512-9090 (代表)

《工事概要》

- (1) 工事名: R3国道4号下谷(2)電線共同溝路面復旧その2工事
- (2) 工事場所: 東京都台東区下谷3丁目地先
- (3) 工期: 工事の始期から243日間(工事着手期限: 令和4年4月1日)
- (4) 入札方式: 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)
- (5) 工事種別: アスファルト舗装工事 A
- (6) 工事内容(概要):
工事延長 L=560m、道路土工 約580m³、
舗装工 1式(歩道舗装 約3,200m²、車道舗装 約1,700m²)
縁石工 約340m、防護柵工 約130m、区画線工 約600m、
道路植栽工 1式、情報BOX管路工 52m、

《公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)について》

競争参加者が少数と見込まれる工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書および技術資料(参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。)を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《日当たり作業量の補正について》

本工事は、夜間工事で車線規制を伴う工事であり、交通規制帯の中での狭隘な作業ヤード内での施工となるため、作業効率が通常と比べて低下することが懸念されます。

このため、「舗装工」、「縁石工」、「仮復旧工」、「構造物撤去工」、「情報BOX管路工」において、標準積算と施工実績の乖離が生じることが予想されるため、日当たり作業量の補正を行います。

《余裕期間制度(任意着手方式)について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事着手期限までの間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。また、工事の始期までの余裕期間内は、主任(監理)技術者の配置を要しません。

《難工事指定について》

本発注工事の完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事(試行)」の総合評価の評価項目において加点対象とする「難工事指定」を採用します。

《スケジュール》

- | | |
|-----------------|----------------|
| ○入札公告、入札説明書交付 | 令和4年 1月 4日(火) |
| ○技術資料等、見積書提出期限 | 令和4年 1月 14日(金) |
| ○入札書、工事費内訳書提出期限 | 令和4年 2月 4日(金) |
| ○開札日 | 令和4年 2月 9日(水) |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

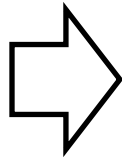
対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

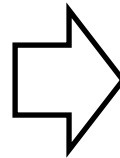
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)

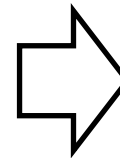


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



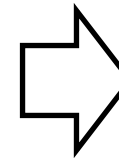
参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上